

科目ナンバー	LIN-3-012-e			科目名	第二言語習得論II			
教員名	小林 真記			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2	
概要	第二言語習得の到達度に関係するとされている個人差要因を概観した後、第二言語習得の主要理論を学ぶ。さらに、教室における第二言語習得における修正フィードバックと質問の役割を考察する。毎回、担当教員による講義だけでなく、学生による復習発表やディスカッションを行う。							
到達目標	第二言語(外国語を含む)の習得に関する基礎知識を身につけることを目的とする。これまでに国内外で行われて来た研究を考察し、「第二言語はいかに学ばれるのか」、「多くの第二言語学習者が母語レベルに達しないのはどうしてか」といった問いに対してより科学的な説明をできるようになることが一番のねらいである。さらに、本講義は、様々な理論や概念を用いて、受講者が自らの言語学習経験を振り返り、第二言語学習及び教育実践を多面的且つ複眼的に考察する力を養うことも目的とする。							
「共愛12の力」との対応								
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力		
共生のための知識		○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度			自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド			主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	本講義は、主に、授業外でのリーディング、担当教員による講義、学生による復習発表、ディスカッション等のグループ活動からなる。予め指定されたテキストの範囲や論文等を読みワークシートの問題に答えてもらう。また、受講生は、毎回授業後にその日の授業について内省文を書き、次の授業でその内省文を基に、ディスカッションを行う。講義が始まって間もなくグループを決め、予定表に合わせて発表の担当箇所を決める。担当日グループは、前回の講義内容をパワーポイントと配布資料を用いて解説する。こうした予習と復習を基に、担当教員による講義や解説と学生中心のディスカッション等の活動を行っていく。							
アクティブラーニング			サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	1～3のすべてを満たす者 1.『第二言語習得論』の単位を取得済みの者。(教育言語学、英語科教育法、日本語教育学、教育心理学、発達心理学等と合わせて履修できれば尚良い。) 2.英語で書かれた教科書を読んでいくため、英文の文献でも積極的に読んでいく意欲のある者。 3.グループ活動に積極的且つ建設的に取り組む意欲のある者。							
アセスメントポリシー及び評価方法	復習発表(15%)、内省文(15%)、中間試験(30%)、レポート(30%)、ポスター発表(10%)							
教材	Lightbown, P. M., & Spada, N. (2006). How languages are learned (4th ed.). Oxford: Oxford University Press. 白畑知彦, 富田祐一, 村野井仁 & 若林茂則 (2009). 『英語教育用語辞典』(第3版)大修館							
参考図書	小柳かおる. (2004). 『日本語教師のための新しい言語習得概論』東京:スリーエーネットワーク. 白井恭弘.(2012). 『英語教師のための第二言語習得論入門』東京:大修館.							
内容・スケジュール								
1週目								
授業学修内容	前期の復習							
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。					時間数	2	
2週目								
授業学修内容	第二言語習得に影響を与える要因(1): 知性、言語適正							
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。					時間数	2	
3週目								
授業学修内容	第二言語習得に影響を与える要因(2): 認知スタイル、学習ストラテジー、性格							
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。					時間数	2	

4週目			
授業学修内容	第二言語習得に影響を与える要因 (3): 動機付けと心的態度		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	第二言語習得に影響を与える要因 (4): アイデンティティ、学習者の信条		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
6週目			
授業学修内容	第二言語習得に影響を与える要因 (3): 年齢、臨界期仮説		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	第二言語習得理論 (1): 行動主義&生得主義、		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	第二言語習得理論 (2): インプットとインターアクションの役割		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	第二言語習得理論 (3): 気づき、練習の役割		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	第二言語習得理論 (4): アウトプットの役割		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	中間試験 教師の発話の特徴		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	教室における第二言語習得 (1): 修正フィードバック		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	教室における第二言語習得 (2): 教師の質問		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	ポスター発表		
授業外学修内容	授業で指定された箇所を読んでノートにまとめてくる。内省文をオンラインフォーラムに投稿する。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	まとめ		
授業外学修内容	外国語学習プロジェクト報告作成に向け、講義で扱った内容をすべて振り返り、ノートを充実させる。	時間数	5
上記の授業外学修時間の合計		33	
その他に必要な自習時間		57	

Number	LIN-3-012-e	Subject	Second Language Acquisition II			
Name	小林 真記 (Kobayashi Masaki)	Year and Semester	S	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>This course is a general introduction to the field of second language acquisition or the scientific study of how people learn a second language or foreign language. The course provides an overview of major theories and issues in this area and draws on perspectives from various disciplines such as linguistics, psychology, anthropology, sociology, and education in examining the complex process of learning a second/foreign language. Students will be encouraged to talk about their language learning and use SLA concepts and principles to make sense of their own experiences.</p>					